

伊豆の国市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(平成 27 年度～令和元年度)

総合評価報告書

令和 3 年 3 月

伊豆の国市

目次

I 評価の概要

- 1 評価の趣旨
- 2 評価対象
- 3 評価指標
- 4 評価方法
 - (1) 総合評価
 - (2) 基本目標別評価
- 5 評価区分

II 総合戦略の体系

III 総合評価

IV 基本目標別評価

- 1 基本目標 1
- 2 基本目標 2
- 3 基本目標 3
- 4 基本目標 4

V 実績値及び目標達成状況一覧

I 評価の概要

1 評価の趣旨

「伊豆の国市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、第1期総合戦略という。）」は、人口減少のスピードや人口減少数を抑え、将来にわたって夢や希望を持てる伊豆の国市を実現するため、平成28年2月に策定されたものである。

第1期総合戦略では、本市のまちづくりの指針である「第1次伊豆の国市総合計画（平成19～平成28年度）」を踏まえ、本市の持つ自然的・社会的資源、強みと機会を最大限に生かすことを念頭に4つの基本目標と推進施策を設定しており、施策の方向性と具体的な取組を示すことにより目標実現に取り組んできた。

今回、令和元年度をもって計画期間が満了したことから、当該戦略で掲げた基本目標、施策及び事業についての実績を取りまとめ、今後の施策・事業にかかる取組改善等につなげるため、評価を実施する。

総合計画及び総合戦略の計画期間

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
第1次総合計画	計画										
第2次総合計画			計画								
第1期総合戦略	計画					評価					
第2期総合戦略						計画					評価

2 評価対象

第1期総合戦略に記載された4つの基本目標、14の推進施策及び44の具体的な取組。

3 評価指標

(1) 成果指標

幅広い世代から定住の地として選ばれる伊豆の国市を実現するために設定された「4つの基本目標」の達成度合いを示す指標。全10項目。

(2) 重要業績評価指標（KPI）

各基本目標を実現するために設定された14の推進施策が適切に実行されているかを評価するための指標。全44項目。

4 評価方法

(1) 総合評価

伊豆の国市人口ビジョンを踏まえ、基本目標や推進施策における具体的な取組の実績値及び目標値の達成状況等から、第1期総合戦略の総合評価を行う。

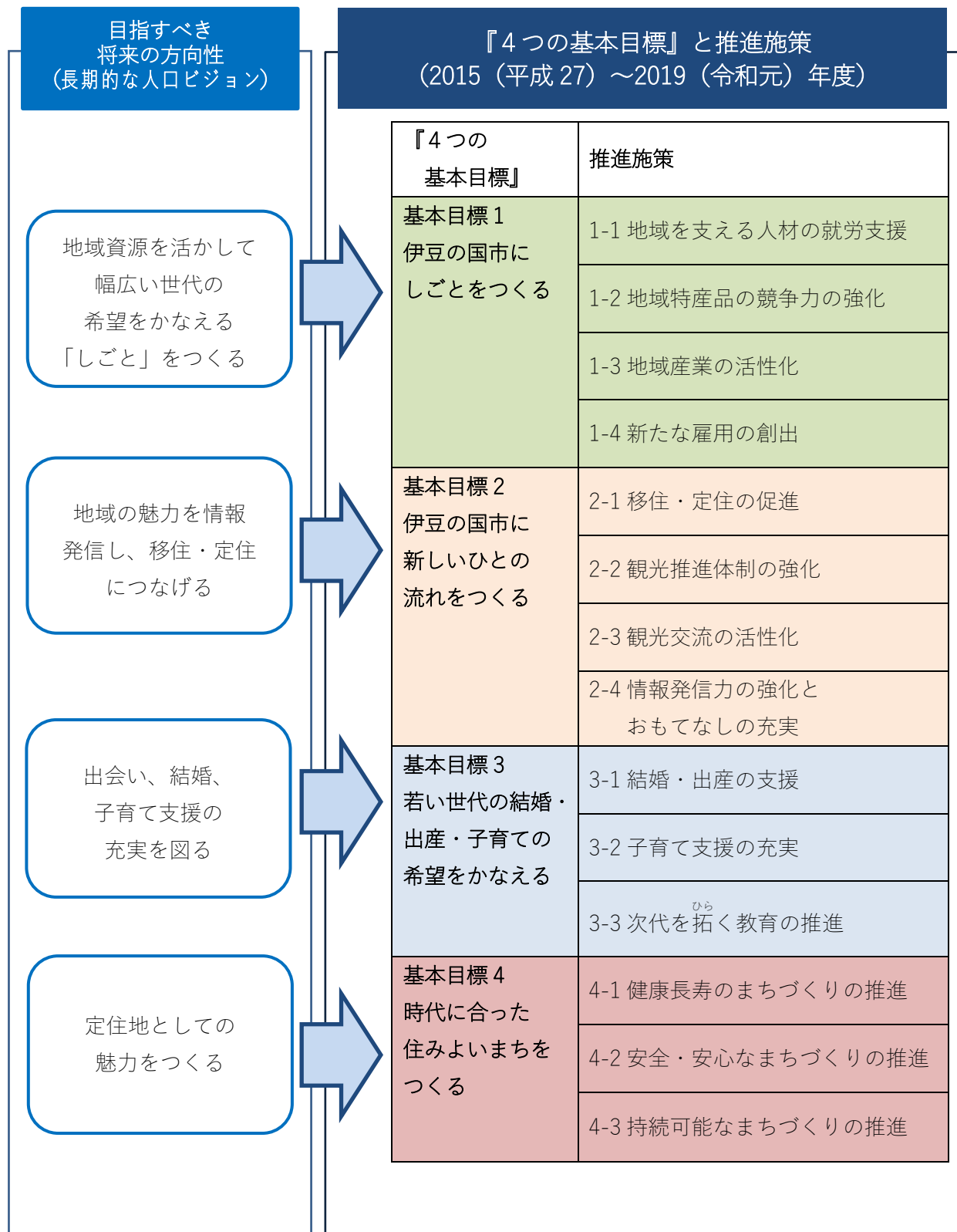
(2) 基本目標別評価

重要業績評価指標（K P I）の目標値の達成状況による各推進施策の具体的な取組の評価、成果指標の目標値の達成状況及び重要業績評価指標（K P I）の達成状況をもって基本目標ごとの評価を行う。

5 評価区分

区分	基準の内容
◎	「実績値」が「目標値」以上のもの
○	「実績値」が「基準値」以上「目標値」未満のもの
▲	「実績値」が「基準値」未満のもの
－	統計値が発表前又は当該年度に調査がなかったものなど

Ⅱ 総合戦略の体系



Ⅲ 総合評価

1 総合評価の方法

第1期総合戦略と同時に策定した「伊豆の国市まち・ひと・しごと創生長期人口ビジョン（以下、伊豆の国市人口ビジョン）」において設定した「人口の将来展望」を活用する。

2020年の「将来展望」値を第1期総合戦略の成果を図る総合評価指標に定め、この指標に対し、令和元年度実績を比較することで評価していく。

併せて、4つの基本目標の成果指標における目標値に対する達成状況を示し、これら実績を踏まえ第1期総合戦略の総合評価とする。

(1) 総合評価指標の結果

指標	推計値	実績値	成果
令和2年の 人口の将来展望値（※1）	令和2年の 推計人口（※2）	住民基本台帳に基づく総人口 （令和2年4月1日現在）	△557人
48,836人	48,555人	48,279人	

（※1）様々な施策を展開し、本市が目指すべき人口の値

（※2）国立社会保障・人口問題研究所による推計値

(2) 4つの基本目標の成果指標の達成状況

区分	基準の内容	項目
◎	「実績値」が 「目標値」以上の もの	項目数：1（割合：10%） ・基本目標1 伊豆の国市にしごとをつくる ✓法人市民税均等割が課税されている事業所の従業員数
		項目数：4（割合：40%） ・基本目標1 伊豆の国市にしごとをつくる ✓事業所数 ✓法人市民税均等割が課税されている事業所数 ・基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる ✓子育てや子育て世帯への支援満足度 ・基本目標4 時代に合った住みよいまちをつくる ✓お達者度（男性） ✓お達者度（女性）
○	「実績値」が 「基準値」以上 「目標値」未満 のもの	項目数：5（割合：50%） ・基本目標2 伊豆の国市に新しいひとの流れをつくる ✓5年間の社会動態数 ✓観光交流客数 ・基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる ✓0～14歳人口 ・基本目標4 時代に合った住みよいまちをつくる ✓住みやすさ満足度

2 考察

「将来にわたって夢や希望を持てる伊豆の国市」をねらいとした第1期総合戦略において、「ひと」は全ての活動の根幹となる。

伊豆の国市人口ビジョンでは、国立社会保障・人口問題研究所による推計人口と、今後、本市が目指すべき人口としての将来展望を示しており、令和2年4月1日現在の本市の総人口は、人口ビジョンで示した令和2年の「人口の将来展望」値を下回る結果となった。さらには、将来展望を設定するうえでの基礎となる「推計人口」値をも下回る結果となった。

また、第1期総合戦略では、4つの基本目標を掲げそれら目標の達成状況を計るため、それぞれに成果指標を設けている。これら成果指標の目標値に達しなかったものが90%、さらには基準値をも下回る結果となったものが50%となった。

人口の増減は、社会情勢など様々な要因に因るところではあるが、第1期総合戦略に掲げた成果指標の達成状況が極めて低く、人口もその結果に比例して減少しているという状況から推察すると、当該戦略が人口減少に歯止めをかけることができなかったと考えられる。

さらに、各目標に紐づく推進施策におけるKPIの達成状況は、全体の約47%が目標値を達成している状況でありながら、基本目標の成果指標の達成には結びつかなかったことも大きな課題と言える。

一方、市にとっての長年の課題の一つであった長岡スポーツワールド跡地を江間工業用地として整備し企業誘致につなげたことや、市の主要産業である観光の分野において民間と共同で静岡DC（※3）を開催し多くの誘客につなげたこと、子育てと仕事の両立環境の整備の一環として新たに幼稚園における預かり保育事業を開始したこと、地域の住人が誰でも気軽に立ち寄ることができる居場所をこの期間中に12か所も新たに開設したこと等は、一定の効果があつたものと評価できる。

今後は、第2期総合戦略で位置づけた「地域間の連携と協働の強化」、「最先端技術の活用」、「多様な人材の活用促進（多様性の尊重）」、「関係人口の創出・拡大」の3つの新たな視点を加え、引き続き「将来にわたって夢や希望を持てる伊豆の国市のまちづくり」の実現に向け、伊豆の国市の持つ特性・魅力を活かした独自性のある戦略・施策を推進していく。

（※3）静岡DC……静岡ディステーションキャンペーン。地域の活性化を目的とし、自治体、地元関係者やJRグループ等が協力して実施する国内最大級の観光キャンペーンのこと。

【参考データ】

① 人口推移

(人)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
総人口	49,787	49,677	49,353	49,082	48,686	48,279
0～14 歳	6,064	5,978	5,875	5,787	5,589	5,491
15～64 歳	29,006	28,529	27,963	27,615	27,247	26,882
65 歳～	14,717	15,170	15,515	15,680	15,850	15,906

3 区分別人口割合

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
0～14 歳	12.2%	12.0%	11.9%	11.8%	11.5%	11.4%
15～64 歳	58.3%	57.4%	56.7%	56.3%	56.0%	55.7%
65 歳～	29.6%	30.5%	31.4%	31.9%	32.6%	32.9%

出典：住民基本台帳（各年 4 月 1 日）

② 自然動態

(人)

(人)	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	平成 27 年～ 令和元年平均	平成 22 年～ 平成 26 年平均
出生数	321	329	319	299	266	306.8	341.0
死亡数	526	540	602	598	624	578.0	522.2
差引計	△205	△211	△283	△299	△266	△271.2	△181.2

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

③ 社会動態

(人)

(人)	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	平成 27 年～ 令和元年平均	平成 22 年～ 平成 26 年平均
転入数	1,690	1,500	1,569	1,587	1,708	1610.8	1744.8
転出数	1,582	1,573	1,629	1,670	1,725	1635.8	1705.0
差引計	108	△73	△60	△83	△17	△25.0	39.8

出典：総務省「住民基本台帳人口移動報」

IV 基本目標別評価

基本目標 1 伊豆の国市にしごとをつくる

市民が最も期待することは、定住のための「働く場所の確保」です。すそ野の広い観光関連産業と医療・福祉関連産業、農業を核に産業全体の活性化を進め、若い世代の地元回帰と定住のための就業機会の確保を目指します。

○主な成果

- ◆ 江間工業用地へ2社の企業を誘致し、法人市民税均等割が課税されている事業所の従業員数を目標値以上に増やすことができた。
- ◆ 目標値を上回る数の事業所が合同就職相談会に参加し、地元企業の情報を発信することで、就職の機会の創出につながった。
- ◆ 地域ブランドの認定や地域資源を活用した商品開発の支援により、市の魅力を市内外に発信した。
- ◆ 目標値を上回る数の店舗リフォーム助成を行い、観光地としての魅力向上や市内通貨による商業の活性化につながった。

1 成果指標に対する実績

目標	基準値	目標値	実績値	達成状況
事業所数	2,530 件 (平成 26 年度)	2,700 件 (令和元年度)	2,476 件 (令和元年度)	▲
法人市民税均等割が課税されている事業所数 【※追加指標】	1,188 件 (平成 26 年度)	1,260 件 (令和元年度)	1,205 件 (令和元年度)	○
法人市民税均等割が課税されている事業所の従業員数 【※追加指標】	13,801 人 (平成 26 年度)	13,900 人 (令和元年度)	13,979 人 (令和元年度)	◎

※「事業所数」は経済センサスを根拠としているが、経済センサスは5年に一度の調査であることから、平成 28 年に「法人市民税均等割が課税されている事業所数」及び「法人市民税均等割が課税されている事業所の従業員数」を新たに追加した。

※達成状況区分

区分	基準の内容
◎	「実績値」が「目標値」以上のもの
○	「実績値」が「基準値」以上「目標値」未満のもの
▲	「実績値」が「基準値」未満のもの

2 評価と今後の方針

《全体》

基本目標1では、3つの成果指標のうち1つが目標値を上回る結果となった。

法人市民税均等割の課税されている事業所数（法人数）は目標値に届かなかったが、着実に増加しており、法人市民税均等割の課税されている事業所の従業員数を増加させることができた。一方で、経済センサスにおける事業所数は基準値より減少しており、法人市民税の課税されない個人事業主が減少しているのではないかと考えられる。

各推進施策における具体的な取組ごとのK P Iを見ると、全体の45.5%が目標値を上回っている。特に、地域特産品の競争力の強化において、具体的な取組の全てがK P Iの目標値を上回っており、市内の経済循環の活性化につながった。また、目標値には届かないが、基準値より増加しているものもあり、一定の成果があったといえる。

新たな雇用の創出は、基本目標に直接寄与することから、今後も、企業の誘致、事業規模の拡大や設備の導入を支援するとともに、幅広い産業の起業を支援していく。また、既存産業の活性化を図るため、本市の特長である「農業」「観光業」「医療・福祉」それぞれの産業分野に特化した個別の支援を推進し、発展につながる支援を強化していく。

《1. 地域を支える人材の就労支援》

伊豆市・伊豆の国市合同で就職相談会を実施し、市内での就職を検討している方に対し、求人を検討している企業・団体の人事担当者と直接話せる機会を提供した。

また、県、J A伊豆の国、受入農家等と連携し、就農希望者の継続的な受入や受入農家の拡充に努め、新規就農者数を着実に増やすことができた。しかしながら、農業を中心とした第一次産業は高齢化による担い手不足や後継者確保が大きな課題であるため、経済面での支援等と併せて今後も就農支援を継続していく。

一方、介護職員初任者研修課程受講後の就職者数は伸び悩んでおり、研修内容のニーズの把握や支援の方法を検討していく必要がある。

《2. 地域特産品の競争力の強化》

地域産業資源の認定を受けたことや、地域特産品を活用した商品の開発を支援したこと、市の魅力や特徴の発信につながった。今後も、新商品の開発支援や伊豆の国市まごころ市場への支援を行うなど、地域農産物等の流通・拡大を図っていく。

《3. 地域産業の活性化》

地域資源を活用した着地型観光商品の開発・販売を支援し、地域産業の活性化につながった。今後は、東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、スポーツを活用した新たな観光振興を推進していく。

伊豆の国市商工会と連携し、5年間で129件の店舗リフォーム助成を行い、店舗の魅力向上及び市内通貨による商業の活性化につながった。

一方、静岡よろず支援拠点と連携し、経営相談窓口を月1回開設したが、相談数は伸び悩んでおり、設備改修支援など直接的な経営を支援する取組を強化していく必要がある。

《 4. 新たな雇用の創出 》

土地利用等の制限がある中、江間工業用地の売却や工場設置に係る補助を行い、雇用機会の創出することができた。また、創業希望者に対し、創業に必要な知識やノウハウを習得する場を提供し、創業した者が安定した経営を行うことができるよう支援を行った。今後も企業誘致や新たに起業しようとする者の支援を推進し、地域経済の活性化を図っていく。

3 成果指標及びKPIの達成状況

(1) 成果指標

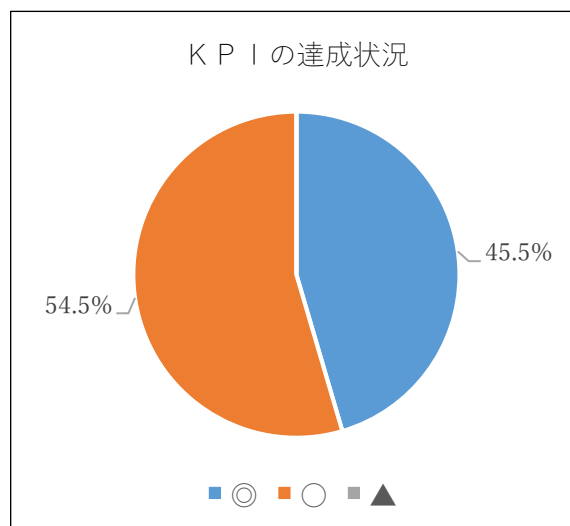
成果指標の達成状況		
区分	項目数	割合
◎	1	33.3%
○	1	33.3%
▲	1	33.3%
合計	3	100.0%

※達成状況区分

区分	基準の内容
◎	「実績値」が「目標値」以上のもの
○	「実績値」が「基準値」以上「目標値」未満のもの
▲	「実績値」が「基準値」未満のもの

(2) KPI

KPIの達成状況		
区分	項目数	割合
◎	5	45.5%
○	6	54.5%
▲		
合計	11	100.0%



基本目標 2 伊豆の国市に新しいひとの流れをつくる

あらゆる世代が求める情報を積極的に提供するため、戦略的な情報発信を通じてイメージアップを図り、移住の促進や受入れ体制づくりを進め、現在の転入超過の継続を目指します。

また、世界遺産の韮山反射炉に代表される地域資源を最大限に活用するため、観光推進体制を強化し、外国人旅行客を含めた観光交流人口の拡大を目指します。

○主な成果

- ◆ 移住相談窓口を一元化し、移住検討者への情報発信を積極的行ったことで、目標を上回る数の移住相談があり、移住者数を増やすことができた。
- ◆ 3年間にわたって開催した静岡DCでは、3億8千万円の経済波及効果があり、地域の活性化につながった。
- ◆ 地域資源を活用した新たなアクティビティとして、自転車やウォーキングによるスポーツイベントを実施し、スポーツツーリズムによる観光の活性化につながった。
- ◆ 伊豆の国市 YouTube チャンネルにおいて、市の特産品や観光地としての魅力等を動画で紹介し、県内外へPRすることができた。

1 成果指標に対する実績

目標	基準値	目標値	実績値	達成状況
5年間の社会動態数 (転入数－転出数) (人/5年ごとの 平均値)	179人 (平成26年度)	250人 (令和元年度)	34人 (令和元年度)	▲
観光交流客数 (万人/年)	224万人 (平成26年度)	260万人 (令和元年度)	194万人 (令和元年度)	▲

※達成状況区分

区分	基準の内容
◎	「実績値」が「目標値」以上のもの
○	「実績値」が「基準値」以上「目標値」未満のもの
▲	「実績値」が「基準値」未満のもの

2 評価と今後の方針

《全体》

基本目標2に掲げる成果指標では、2つの指標の両方が基準値を下回る結果となった。

5年間の社会動態数は、転入者数が平成28年度以降減少に転じ、平成30年度以降転出超過となったことで基準値を下回った。また、観光交流客数は、平成27年度に蕨山反射炉が世界文化遺産に登録されたことをきっかけに一旦は増加したものの、平成30年度以降は減少傾向に転じている。

一方で、各推進施策における具体的な取組ごとのKPIは、全体の55.6%が目標値を上回っており、特に、移住定住の促進や、観光交流の活性化のうちスポーツツーリズムの推進は目標値を大幅に上回っている。

これらのことを踏まえ、今後は、体験型観光商品の開発を支援したり、地域ならではの観光資源を活用したりすることで、観光地としての魅力向上やスポーツを活用した新たな観光振興の推進を図り、観光交流客数の増加を目指す。また、これらの魅力を活用し、引き続き移住定住を促進していく。

《1. 移住・定住の促進》

Y o u t u b e でのPR動画の公開や移住定住支援の特設サイトの制作により情報発信を強化し、移住相談数の大幅な増加につなげた。特に、若年世代の転出超過は人口減少に歯止めをかける上で大きな課題となっていることから、県等と連携し、移住定住の後押しとなるような補助制度を創設するなど、今後も移住定住の促進に努めていく。

《2. 観光推進体制の強化》

地域おこし協力隊、市民及び伊豆の国市観光協会等と連携し、伊豆の国版DMOを設立した。これにより、静岡DCにおける魅力的な観光商品の提供や、地域資源を活用した体験プログラム等による伊豆の国ふるさと博覧会を実施することができた。特に、静岡DCでは宿泊客数の増加や3億8千万円の経済波及効果があり、地域の活性化につながった。

《3. 観光交流の活性化》

市内の観光名所を結ぶ観光周遊バス（歴バスのる〜ら）を運行し、市内観光の周遊性や利便性の向上につなげた。今後は、より効果的かつ効率的な運航を目指し、運行時間の変更や停留所の追加等を検討し、利用者のニーズに合った運行を続けていく。

また、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けたサイクリイベントの実施やバイシクルピットの設置等の取組により、スポーツと観光を融合させた新たな観光を推進することができた。

インバウンド観光においては、英語対応が可能な観光案内所の設置を支援し、外国人来訪客の受入態勢の整備を進めた。今後は、美しい伊豆創造センター等との連携し、外国人向けに周遊性を高める取組をより一層推進していく。

≪ 4. 情報発信力の強化とおもてなしの充実 ≫

無料のW i f i スポットの普及を促進するとともに、その位置を分かりやすく探せるサイト「I Z U P A S S」を創設し、国内外の来訪者に観光情報の提供する環境を整備することができた。今後は、S N S等を活用し、情報発信のさらなる積極化を図っていく。

歴史ガイドの利用者数が基準値を下回った主な原因としては、観光客数の減少が考えられるが、より多くの人に本市の歴史資源の魅力を発信するため、ガイドの質の向上及び育成を強化していく必要がある。

3 成果指標及びK P Iの達成状況

(1) 成果指標

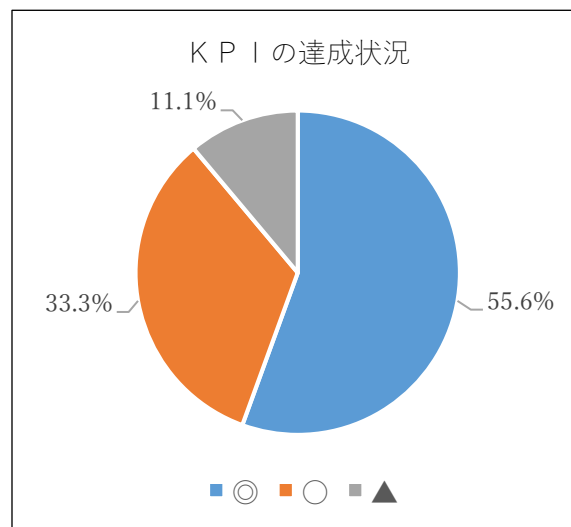
成果指標の達成状況		
区分	項目数	割合
◎		
○		
▲	2	100.0%
合計	2	100.0%

※達成状況区分

区分	基準の内容
◎	「実績値」が「目標値」以上のもの
○	「実績値」が「基準値」以上「目標値」未満のもの
▲	「実績値」が「基準値」未満のもの

(2) K P I

K P Iの達成状況		
区分	項目数	割合
◎	5	55.6%
○	3	33.3%
▲	1	11.1%
合計	9	100.0%



基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若い世代の子育てと仕事の両立を支援し、出生率の向上を目指します。

次代を担う子どもに対し、これからの時代に社会を生き抜くために必要な能力を身に付けるための教育環境づくりを目指します。

○主な成果

- ◆ パパママ学級において目標を上回る人数が参加したことで、より多くの新米パパ・ママに対し、妊娠、出産、育児への不安を解消するための場を提供できた。
- ◆ 幼稚園における長期休業中の預かり保育を実施し、子育てと仕事の両立支援を充実させることができた。
- ◆ 子どもから大人まで幅広い年代を対象として、学びのきっかけとなる講座や体験教室を実施し、親子がふれあう場や地域の人々と交流する機会を創出した。

1 成果指標に対する実績

目標	基準値	目標値	実績値	達成状況
0～14 歳人口 (住民基本台帳)	6,064 人 (平成 27 年 4 月 1 日現在)	5,700 人 (令和 2 年 4 月 1 日現在)	5,491 人 (令和元年度)	▲
子育てや子育て世帯 への支援満足度 (市民アンケート)	12.1% (平成 26 年)	25.0% (令和元年)	16.4% (令和元年度)	○

※達成状況区分

区分	基準の内容
◎	「実績値」が「目標値」以上のもの
○	「実績値」が「基準値」以上「目標値」未満のもの
▲	「実績値」が「基準値」未満のもの
－	統計値が発表前又は当該年度に調査がなかったものなど

2 評価と今後の方針

《全体》

基本目標3に掲げる成果指標は、2つの指標の両方が目標値を下回る結果となった。

0-14歳人口は、伊豆の国市人口ビジョンの推計値を超えるスピードで減少している。しかし、子育てや子育て世帯への支援満足度は、目標値には届かなかったものの着実に向上しており、妊娠・出産の支援や子育て支援の充実には一定の成果があったと考えられる。

各推進施策における具体的な取組ごとのKPIを見ると、全体の46.2%が目標値を超える結果となっている。特に、パパママ学級の推進、保健福祉・こども・子育て相談センターによる切れ目ない支援や保育サービスの拡大など、安心して子育てできる環境づくりにおいて達成度が高くなっている。

伊豆の国市においては、合計特殊出生率の向上や出生数の増加による人口減少の緩和が重要な課題となっている。そのため、結婚・出産しやすい環境を整えたり、子どもを持ちたいと思える環境や子育てと仕事が両立できる環境をさらに充実させたりするなど、今後も子育てに対する幅広い支援の強化に努めていく。

《1. 結婚・出産の支援》

婚活イベントの実施や開催支援により、結婚を希望する男女の出会いの機会を創出した。しかし、出会いから結婚に至るまでには個人差があり、一般的に長い時間を要することから、その成果については不透明であるため、実施方法等を検討する必要がある。

不妊・不育症の治療費助成やパパママ学級の推進は目標値を上回る結果となっており、市民からの需要が高いことから、今後も支援を継続し、若い世代が結婚・出産しやすいと感じる環境づくりを推進していく。

《2. 子育て支援の充実》

家庭児童相談員による相談受付、いずれのくに子育てモバイルでの子育て情報の発信など、子育て支援サービスの充実にも努め、安心して子どもを持てる環境づくりを推進した。特に、幼稚園における長期休業中の預かり保育の実施は、子育てと仕事の両立支援に直接寄与することから、今後も保育サービスの拡大を目指していく。

また、ファミリーサポートセンターの会員数は、目標値に届かなかったものの、着実に増加しており、仕事と子育ての両立を地域ぐるみでサポートする仕組みとして、今後も制度周知や登録を促進していく。

地域子育て支援センターの利用者数は、基準値より減少しているが、子どもが遊ぶ場だけでなく、子育てする親が相互に交流、相談できる場でもあることから、親子で参加できる行事の実施など利用しやすい工夫を行っていく必要がある。

《3. 次代を拓く教育の推進》

宿泊体験や遊び体験などを通じて青少年の健全育成や郷土愛の醸成を図るとともに、小

中学校にALT（※４）を配置し、外国人とふれあう機会や異文化に対する興味を向上させるための環境づくりを推進した。

きっかけづくり塾や公民館講座など年間で３００回以上の講座を実施し、より多くの市民が地域の人々と交流し、文化に触れたり、運動したりする機会を提供することができた。

３ 成果指標及びKPIの達成状況

(1) 成果指標

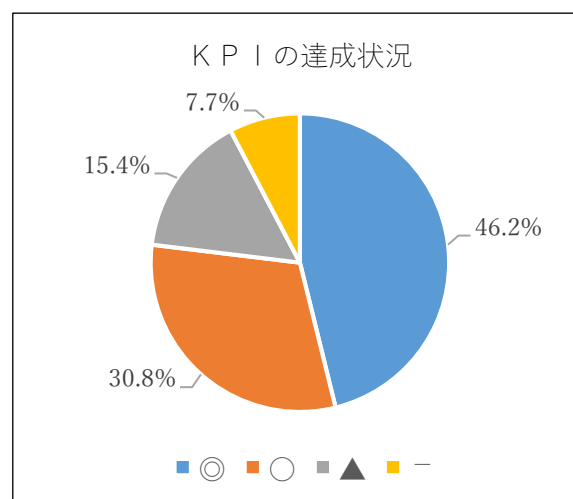
成果指標の達成状況		
区分	項目数	割合
◎		
○	1	50.0%
▲	1	50.0%
合計	2	100.0%

※達成状況区分

達成状況区分	基準の内容
◎	「実績値」が「目標値」以上のもの
○	「実績値」が「基準値」以上「目標値」未満のもの
▲	「実績値」が「基準値」未満のもの

(2) KPI

成果指標の達成状況		
区分	項目数	割合
◎	6	46.2%
○	4	30.8%
▲	2	15.4%
－	1	7.7%
合計	13	100.0%



(※４) ALT……Assistant Language Teacher の略。日本人教師を補佐し、生きた英語を子どもたちに伝える英語を母国語とする外国人を指す。

基本目標 4 時代に合った住みよいまちをつくる

あらゆる世代から定住の地として選ばれるためのまちづくりを進めます。
人口減少社会への適応を念頭に、市民全員がまちづくりに関わり、柔軟かつ効率的な都市活動により、持続可能なまちを目指します。

○主な成果

- ◆ 健康マイレージへの参加を促進し、自身の健康状態の把握や健康増進のための習慣づけにつなげた。
- ◆ 災害支援の拠点となる地区公民館の耐震化を行い、市民が安全・安心に暮らせるまちづくりを進めることができた。
- ◆ パートナリシップ事業を実施し、市民活動団体の活動を支援することで、市民自らが住みよい地域をつくりだす意識を醸成することができた。

1 成果指標に対する実績

目標	基準値	目標値	実績値	達成状況
住みやすさ満足度 (市民アンケート)	44.3% (平成 26 年度)	55.0% (令和元年度)	40.0% (令和元年度)	▲
お達者度(男性)(※)	17.27 (平成 26 年度)	18.0 (令和元年度)	17.88 (令和元年度)	○
お達者度(女性)	21.2 (平成 26 年度)	21.7 (令和元年度)	21.46 (令和元年度)	○

※お達者度：静岡県が県内市町の介護認定の情報、死亡の情報をもとに、生命表を用いて算出する、65 歳から元気で自立して暮らせる期間。

(参考) 平成 26 年度県内市町村順位 男性 20 位、女性 10 位

令和元年度県内市町村順位 男性 23 位、女性 14 位

※達成状況区分

区分	基準の内容
◎	「実績値」が「目標値」以上のもの
○	「実績値」が「基準値」以上「目標値」未満のもの
▲	「実績値」が「基準値」未満のもの

2 評価と今後の方針

《全体》

基本目標4に掲げる成果指標は、3つの成果指標の全てが目標値を下回った。

市民アンケートによる住みやすさ満足度は、実績値が基準値を下回ったことに加え、毎年度同程度の水準に止まっていることから考えると、平成27年度以降に住みにくさを感じる市民が増えたが、それを解決するまでに至らなかったと考えられる。男女別のお達者度はわずかながらに伸びたものの、男性においては県平均を下回っている。しかし、女性は県平均を上回っており、居場所づくりや健康マイレージの促進の効果が表れていると考えられる。

また、各推進施策における具体的な取組ごとのKPIを見ると、目標値を超えたものは全体の38.5%だが、安全・安心なまちづくりの推進においては3つのKPIのうち、2つが基準値を下回っている。

時代に合った住みよいまちをつくるためには、健康で生きがいを持って生活できることに加え、気軽に外出でき、安全で安心して暮らせることが重要となる。今後は、住みやすさの向上を目指し、市民一人ひとりが主役となるためのソフト・ハード整備に努めていく。

《1. 健康長寿のまちづくりの推進》

「居場所」の立ち上げ・運営支援により、地域と交流を持つ場を増やすことができ、健康マイレージへの参加促進により、市民の健康への関心を高めることができた。

これまで介護サービス事業者により行われていた介護予防事業に、住民主体型のサービスが追加されたことに伴い、楽だら体操やサロン等のボランティア育成講座を実施した。目標値にはわずかに届かなかったものの、高齢化が進む中では市民同士が支え合い介護予防を行うことが重要であるため、今後も人材育成や運営補助などの支援に取り組んでいく。

早期発見・治療が重要であるがんの検診率は、乳がんがわずかに上昇したが、大腸がんは基準値を下回っており、受診しやすい環境づくりを整備することができなかった。今後は、検診の啓発活動やPRの強化に努め、気軽に検診を受けることができる環境を整える必要がある。

《2. 安全・安心なまちづくりの推進》

災害支援の拠点となる地区公民館の耐震化を行い、市民が安全・安心に暮らせるまちづくりを進めることができた。

一方で総合防災訓練・地域防災訓練の参加者数は基準値より減少しているため、地域防災力の向上を目指し、地域防災活動を支援するとともに、災害協定の拡充など災害時にも相互で協力できる体制づくりに努めていく必要がある。

また、青色防犯パトロールの実施回数も基準値を下回っており、パトロール実施者の育成講座の周知や市内防犯団体や区への協力を呼び掛けるなど、パトロール実施者の確保に努めていく必要がある。

≪ 3. 持続可能なまちづくりの推進 ≫

立地適正化計画の策定や公共施設の適正な管理を行い、機能的なまちづくりを推進した。また、パートナーシップ事業では、市民活動団体等が提案した事業を協働で実施し、市民と行政が協力して課題解決するという意識の醸成につなげた。

一方で、公共交通に対する不満足度は、基準値より増加している。今後は、解消に向け、予約型乗合タクシーの導入による交通不便地域の移動手段の確保や、日常生活を支える移動支援サービスの創設など、地域の実情に沿った支援を検討していく必要がある。

3 成果指標及びK P I の達成状況

(1) 成果指標

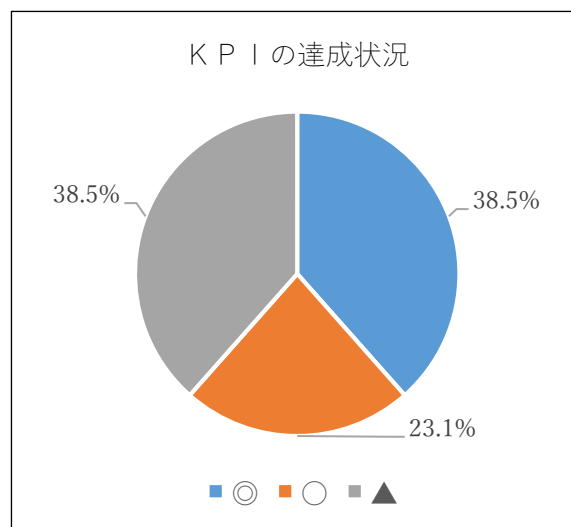
成果指標の達成状況		
区分	項目数	割合
◎		
○	2	66.7%
▲	1	33.3%
合計	3	100.0%

※達成状況区分

達成状況区分	基準の内容
◎	「実績値」が「目標値」以上のもの
○	「実績値」が「基準値」以上「目標値」未満のもの
▲	「実績値」が「基準値」未満のもの

(2) K P I

成果指標の達成状況		
区分	項目数	割合
◎	5	38.5%
○	3	23.1%
▲	5	38.5%
合計	13	100.0%



Ⅳ 実績値及び目標達成状況一覧

基本目標 1 伊豆の国市にしごとをつくる

基本目標 1 伊豆の国市にしごとをつくる									
成果指標	基準値	実績値					目標値	達成状況	担当課
		H27	H28	H29	H30	R1			
事業所数（件）	2,530	－	－	－	－	2,476	2,700	▲	農業商工課
法人市民税均等割が課税されている事業所数（件/年）	1,188	1,220	1,218	1,208	1,206	1,205	1,260	○	農業商工課（税務課）
法人市民税均等割が課税されている事業所の従業者数（人/年）	13,801	13,712	13,759	13,646	14,095	13,979	13,900	◎	農業商工課（税務課）

※成果指標「従業員数（人）」は、出典元として経済センサス（令和元年度）において、調査項目から外れたため、成果指標から削除。

推進施策 1-1 地域を支える人材の就労支援									
具体的取組	基準値	実績値					目標値	達成状況	担当課
		H27	H28	H29	H30	R1			
◆重要業績成果指標（KPI）									
地域の企業と就職希望者のマッチング	－	－	19	33	28	30	10	◎	農業商工課
◆合同就職相談会参加事業所数（事業所/年）									
新規就農者の育成・支援	57	61	64	68	72	81	90	○	農業商工課
◆ニューファーマーとして認定された就農者数（人/平成5年度からの累計）									
介護人材育成支援	0	14	7	8	2	0	10	○	長寿福祉課
◆介護職員初任者研修課程受講後就職者数（人/年）									

推進施策 1-2 地域特産品の競争力の強化									
具体的取組	基準値	実績値					目標値	達成状況	担当課
		H27	H28	H29	H30	R1			
◆重要業績成果指標（KPI）									
農産物や商工品等の地域ブランド化の支援	0	0	1	8	17	9	5	◎	農業商工課
◆地域ブランド化の支援件数（件/累計）									
6次産業化や農商工等連携の支援	0	0	0	3	6	7	5	◎	農業商工課
◆6次産業化や農商工等連携の支援件数（件/累計）									
農産物や農産加工品等の地産地消の推進	0	0	0	18	28	28	25	◎	農業商工課
◆地域資源を活用した商品の新規開発件数（件/累計）									

推進施策 1-3 地域産業の活性化									
具体的取組	基準値	実績値					目標値	達成状況	担当課
		H27	H28	H29	H30	R1			
◆重要業績成果指標（KPI）									
着地型旅行商品の開発支援	－	－	－	1	31	5	10	○	観光課
◆着地型旅行商品開発数（件/年）									
店舗リフォーム等による商店の魅力の向上の推進	0	0	48	82	107	129	120	◎	農業商工課
◆店舗リフォーム助成件数（件/累計）									
中小企業への経営基盤強化支援	0	20	77	55	60	50	80	○	農業商工課
◆中小企業診断士等による相談件数（件/年）									

推進施策 1-4 新たな雇用の創出									
具体的取組	基準値	実績値					目標値	達成状況	担当課
◆重要業績成果指標（KPI）		H27	H28	H29	H30	R1			
企業誘致等の促進	0	0	1	1	1	3	4	○	政策戦略課
◆企業誘致件数（件/累計）									
創業希望者等への支援体制の強化	-	-	-	5	8	9	10	○	農業商工課
◆特定創業支援事業の支援を受けて創業した件数（件/年）									

基本目標 2 伊豆の国市に新しいひとの流れをつくる

基本目標 2 伊豆の国市に新しいひとの流れをつくる									
成果指標	基準値	実績値					目標値	達成状況	担当課
		H27	H28	H29	H30	R1			
5年間の社会動態数（転入数－転出数）（人/5年ごとの平均値）	179	403	415	268	179	34	250	▲	政策戦略課
観光交流客数（万人/年）	224	285	247	213	211	194	260	▲	観光課

推進施策 2-1 移住・定住の促進									
具体的取組	基準値	実績値					目標値	達成状況	担当課
◆重要業績成果指標（KPI）		H27	H28	H29	H30	R1			
「伊豆の国いいね」の発信	0	973	7,438	10,599	12,954	14,847	12,000	◎	政策戦略課
◆プロモーション動画再生回数（回/累計）									
移住・定住の促進	9	27	103	203	323	437	90	◎	政策戦略課
◆移住相談件数（件/累計）									

推進施策 2-2 観光推進体制の強化									
具体的取組	基準値	実績値					目標値	達成状況	担当課
◆重要業績成果指標（KPI）		H27	H28	H29	H30	R1			
伊豆の国DMO（仮称）の構築	-	-	-	設立	設立済	設立済	設立	◎	観光課
◆伊豆の国DMO（仮称）の設立									

推進施策 2-3 観光交流の活性化									
具体的取組	基準値	実績値					目標値	達成状況	担当課
◆重要業績成果指標（KPI）		H27	H28	H29	H30	R1			
観光周遊型バスの運行	-	7,667	14,094	12,003	12,894	9,069	15,000	○	観光課
◆観光周遊型バス乗降客数（人/年）									
スポーツツーリズムの推進	3,436	3,198	3,669	2,141	3,626	5,612	4,000	◎	スポーツ振興課
◆スポーツイベントの参加者数（人/年）									
インバウンド観光の推進	0	0	1	1	1	1	3	○	観光課
◆外国人観光案内所設置数（件/累計）									

推進施策 2-4 情報発信力の強化とおもてなしの充実									
具体的取組	基準値	実績値					目標値	達成状況	担当課
◆重要業績成果指標（KPI）		H27	H28	H29	H30	R1			
シティプロモーションの充実	0	-	7,438	10,599	12,954	14,847	12,000	◎	政策戦略課
◆プロモーション動画再生回数（回/累計）									
公衆無線LAN（Wi-Fi）の普及促進	-	8,055	69,118	87,389	38,630	29,048	100,000	○	観光課
◆ポータルサイトアクセス数（件/年）									
観光資源等の分かりやすい情報伝達と花と緑のおもてなし	156,551	256,857	194,793	134,769	131,915	117,548	160,000	▲	文化財課
◆歴史ガイド利用者数（人/年）									

基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる									
成果指標	基準値	実績値					目標値	達成状況	担当課
		H27	H28	H29	H30	R1			
0-14 歳人口（人/年）	6,064	5,935	5,875	5,787	5,589	5,491	5,700	▲	政策戦略課
子育てや子育て世帯への支援満足度（%）	12.1%	—	—	—	15.0%	16.4%	25.0%	○	政策戦略課

推進施策 3-1 結婚・出産の支援									
具体的取組	基準値	実績値					目標値	達成状況	担当課
		H27	H28	H29	H30	R1			
◆重要業績成果指標（KPI）									
婚活支援	0	32	130	165	99	25	100	○	政策戦略課
◆婚活イベント参加者数（人/年）									
不妊・不育症治療費助成	43	55	74	67	62	65	治療費助成の継続	◎	健康づくり課
◆不妊治療及び不育症治療等の治療費一部助成（件/年）									
パパママ学級の推進	105	129	99	80	102	138	120	◎	健康づくり課
◆パパママ学級参加者数（人/年）									

推進施策 3-2 子育て支援の充実									
具体的取組	基準値	実績値					目標値	達成状況	担当課
		H27	H28	H29	H30	R1			
◆重要業績成果指標（KPI）									
保健福祉・こども・子育て相談センターによる切れ目のない支援	1,651	2,282	3,050	2,539	3,179	3,572	2,000	◎	保健福祉・こども・子育て相談センター
◆家庭児童相談員による相談件数（件/年）									
子育て支援サービスの充実	24,841	25,556	23,352	20,707	18,276	13,487	27,000	▲	保健福祉・こども・子育て相談センター
◆地域子育て支援センター利用件数（件/年）									
◆ファミリーサポートセンターのまかせて会員と両方会員の合計会員数（人/年）	62	62	62	61	67	74	80	○	
「いずのくに子育てモバイル」の情報の充実	18.8%	23.0%	33.0%	40.1%	47.4%	53.1%	50.0%	◎	健康づくり課
◆未就学児の「いずのくに子育てモバイル」登録率（%/年）									
保育サービスの拡大	0	0	0	0	0	0	0	◎	幼児教育課
◆保育園の0～2歳児の待機児童数（人/各年4月1日時点）									

推進施策 3-3 次代を拓く教育の推進									
具体的取組	基準値	実績値					目標値	達成状況	担当課
		H27	H28	H29	H30	R1			
◆重要業績成果指標（KPI）									
学びを支える環境づくりの推進	—	—	75.2%	69.9%	—	—	80.0%	—	学校教育課
◆本を読むことが好きだと答える児童・生徒の割合（%/年）									
次代を担う人づくりの推進	2,149	5,081	5,666	9,197	9,238	3,585	5,000	○	生涯学習課
◆野外活動センターの利用者数（人/年）									
郷土愛の醸成	716	642	562	706	728	682	800	▲	生涯学習課
◆ふるさと学級、あいキッズの参加者数（人/年）									
グローバル教育の推進	17.5%	20.4%	18.5%	18.0%	20.4%	17.7%	25.0%	○	学校教育課
◆市内中学校 3 年生に占める英語検定 3 級以上合格者の割合（%/年）									
生涯学習の推進	3,360	6,998	5,638	5,717	4,917	4,661	3,400	◎	生涯学習課
◆生涯学習教室の延べ参加者数（人/年）									

基本目標 4 時代に合った住みよいまちをつくる

基本目標 4 時代に合った住みよいまちをつくる									
成果指標	基準値	実績値					目標値	達成状況	担当課
		H27	H28	H29	H30	R1			
住みやすさ満足度（％）	44.3%	－	－	39.5%	38.8%	40.0%	55.0%	▲	政策戦略課
お達者度（男性）	17.27	17.42	17.89	18.15	17.74	17.88	18.0	○	長寿福祉課
お達者度（女性）	21.2	21.41	24.45	21.54	21.46	21.46	21.7	○	長寿福祉課

推進施策 4-1 健康長寿を目指すまちづくりの推進

具体的取組	基準値	実績値					目標値	達成状況	担当課
		H27	H28	H29	H30	R1			
◆重要業績成果指標（KPI）									
居場所づくりの推進	3	3	4	6	13	12	10	◎	保健福祉・こども・子育て相談センター
◆「居場所」開設数（か所/累計）									
介護予防事業ボランティア及び介護の担い手の育成	0	68	82	95	95	116	200	○	保健福祉・こども・子育て相談センター
◆介護予防事業ボランティア育成講座修了者数（人/累計）									
健康マイレージの推進	528	389	562	861	850	1,343	1,000	◎	健康づくり課
◆健康マイレージの延べ参加者数（人/年）									
検診を受診しやすい環境づくり	23.7%	25.1%	24.0%	22.1%	22.2%	21.3%	31.0%	▲	健康づくり課
◆大腸がん検診受診率（%/年）									
◆乳がん検診受診率（%/年）	23.7%	25.1%	24.0%	22.1%	22.2%	21.3%	31.0%	▲	

推進施策 4-2 安全・安心なまちづくりの推進

具体的取組	基準値	実績値					目標値	達成状況	担当課
		H27	H28	H29	H30	R1			
◆重要業績成果指標（KPI）									
自主防災組織の活動支援	25,303	22,329	25,894	25,810	20,917	25,103	28,000	▲	危機管理課
◆総合防災訓練・地域防災訓練の参加者数（人/年）									
防犯ボランティアの育成・支援	579	514	519	519	476	439	640	▲	地域づくり推進課
◆青色防犯パトロール実施回数（回/年）									
耐震化の推進及び避難誘導体制の強化	0	1	2	2	2	4	3	◎	危機管理課 地域づくり推進課
◆地区公民館の耐震化数（累計/施設）									

推進施策 4-3 持続可能なまちづくりの推進

具体的取組	基準値	実績値					目標値	達成状況	担当課
		H27	H28	H29	H30	R1			
◆重要業績成果指標（KPI）									
立地適正化の推進	－	策定中	策定中	策定	策定済	策定済	策定	◎	都市計画課
◆立地適正化計画策定									
公共施設の適正管理	172,922	－	－	168,260	170,000	168,566	167,178	○	公共施設整備推進課
◆公共施設の総延床面積（㎡/年）									
地域に根差した公共交通網の構築	29.4%	－	－	－	36.5%	33.2%	24.0%	▲	政策戦略課
◆公共交通に対する不満足度（%/年）									
NPO等市民活動団体の育成・支援	3	7	4	7	7	7	7	◎	地域づくり推進課
◆パートナーシップ事業実施団体数（団体/年）									
男女共同参画の推進	35.7%	29.7%	30.1%	31.9%	32.7%	32.9%	50.0%	▲	地域づくり推進課
◆本市の審議会等の女性委員割合（%/年）									

伊豆の国市まち・ひと・しごと創生総合戦略
(平成 27 年度～令和元年度)
総合評価報告書

編集 伊豆の国市 市長戦略部 政策戦略課

〒410-2292 伊豆の国市長岡 340-1

TEL. 055-948-1413

FAX. 055-948-2915